



2020年1月9日

森と海の自然科 活動案内 「川と街道を訪ねてーNo.29」

大和川水系 ^{いちのもと} 櫛本・白川ダム&伝・山の辺の路散策

観察河川：白川ダム、高瀬川、櫛川、菩提仙川（いずれも佐保川の支流）

「川と街道を訪ねてーNO.29」は、大和川中流域・奈良盆地の東部、奈良市と桜井市に挟まれた天理市^{いちのもと}櫛本を訪ねます。JR櫛本駅から白川ダムを訪ね、^{いちのもと}山の辺の路&伝山の辺の道を歩き、帯解駅へのコースです。観察する河川は大和川支川の佐保川に流入する高瀬川と櫛川、菩提仙川です。白川ダムは櫛川の源流地域である櫛本東部山地の農業用溜池を改築し洪水調整機能をも持たせたダムで高瀬川の水も一部導入されています

<里川担当G>

- ：日時 2020年3月12日（木） 10時30分
 - ：集合 JR奈良線櫛本（万葉まほろば線^{いちのもと}駅） 奈良10：14発→櫛本10：24着があります
雨天時の催行判断は前日夕刻に確認メールします
 - ：持ち物 弁当、飲み物、雨具、防寒用品 等
 - ：目的地 上ツ道、在原神社、馬つなぎ、人麻呂歌塚、和爾下神社、赤土山古墳、白川ダム（高瀬川からの導入堰、櫛川への放水堰）、和爾坐赤坂比古神社、伝山の辺の道、帯解寺
 - ：行程 約9km
 - 10：30 JRまほろば線櫛本駅 スタート 0.8km （トイレあり）
 - 10：45 在原神社 10：55 スタート 0.3km （トイレあり）
 - 11：00 馬つなぎ（旧市街 字市場） 0.4km
 - 11：10 人麻呂歌塚（柿本神社） 11：20 発 0.1km （トイレあり）
 - 11：25 和爾下神社 11：30 発 0.5km
 - 11：40 赤土山古墳 見学（見晴らし良し） 11：50 発 1.6km（名阪国道沿いに東へ）
 - 12：10 白川ダム高瀬川流入堰 0.6km
 - 12：20 白川ダム東屋（ベンチ&屋根あり） 昼食 （トイレあり）12：50 スタート 0.2km
 - 13：00 白川ダム管理センター（ダムカード&パンフレット） 13：30 スタート 0.2km
 - 13：35 古墳公園 13：40 スタート 1.3km
 - 14：05 伝・山の辺の道経由して和爾坐赤坂比古神社 14：10 スタート 1.1km
 - 14：30 サムライ街道を經由 1.7km
 - 15：00 帯解寺 （トイレあり） 15：15 スタート 0.2km
 - 15：20 JRまほろば線帯解駅 解散
- JR奈良行（奈良で乗換、大阪方面へ） 発時刻は15：30

在原神社：在原業平誕生の地。境内に業平が主人公とされる「伊勢物語」ゆかりの井戸「筒井筒」
筒井筒 井筒にかけし まろがたけ 過ぎにけらしな妹見ざるまに

くらべこし 振り分け髪も肩過ぎぬ 君ならずして たれかあぐべき 「伊勢物語」

馬つなぎ：商いでにぎわっていた所。馬出しと呼ぶ荷物を運んだ馬をつなぎ馬つなぎが残っている

歌塚：柿本人麻呂の生地は櫛本と伝えられている 人麻呂の遺髪を依羅娘女（よさみのおとめ）が葬った

和爾下神社：前方後円墳の後円の上に社殿 本殿は切妻檜皮葺、桃山時代の様式を伝え重要文化財

赤土山古墳：全長106.5m前方後円墳 4世紀後半（古墳時代前期後半）**家形埴輪祭祀遺構**

白川ダム：大和川水系高瀬川の支川櫛川にある農業用の白川溜池の堤体を嵩上げ改築した治水ダム。

従前の農業用水貯水容量を確保し洪水調節の治水容量をプラスしたもの

菩提仙川（ぼだいせんがわ）：菩提山正暦寺の境内を流れる清流。平安～室町時代の高級酒の銘柄「菩提泉」は菩提仙川の水と菩提酛という酒母を用いて作られたといわれる。正暦寺では15世紀初めに清酒が作られ、近年復活、正暦寺境内に「日本清酒発祥之地」の記念碑があるそうです

帯解寺：文徳天皇の皇后（藤原明子）が帯解子安地藏菩薩にお祈り、惟仁親王（のちの清和天皇）を懐妊。

備考；文徳天皇の長男は木地師の祖と呼ばれる惟喬親王（興永源寺の大皇器地租神社）

参考に天理市北部の櫛本散策マップを次頁に添付します

以上